

2024年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年5月2日
東

上場会社名 G-すららネット 上場取引所
コード番号 3998 URL https://surala.co.jp
代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)湯野川 孝彦
問合せ先責任者 (役職名)経営管理グループ長 (氏名)岩水 敬子 (TEL)03-5283-5158
四半期報告書提出予定日 2024年5月10日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年12月期第1四半期の連結業績(2024年1月1日~2024年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期第1四半期	499	△8.6	83	△43.6	85	△42.0	62	△35.7
2023年12月期第1四半期	546	△2.2	148	△35.9	147	△38.7	97	△41.0

(注) 包括利益 2024年12月期第1四半期 60百万円(△40.6%) 2023年12月期第1四半期 101百万円(△38.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年12月期第1四半期	9.61	—
2023年12月期第1四半期	14.80	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年12月期第1四半期	2,669	2,311	85.5
2023年12月期	2,708	2,251	82.0

(参考) 自己資本 2024年12月期第1四半期 2,282百万円 2023年12月期 2,219百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年12月期	—	—	—	0.00	0.00
2024年12月期	—	—	—	—	—
2024年12月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年12月期の連結業績予想(2024年1月1日~2024年12月31日)

(％表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,295	7.0	324	△16.3	330	△15.9	195	△35.6	29.81

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2024年12月期1Q	6,694,764株	2023年12月期	6,694,764株
2024年12月期1Q	136,208株	2023年12月期	136,074株
2024年12月期1Q	6,558,570株	2023年12月期1Q	6,614,675株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

(注) 当社は株式給付信託(J-ESOP-RS)を導入しており、当該信託が保有する当社株式を、期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上、控除する自己株式数に含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	8
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、内需及びインバウンド需要など、社会活動の正常化の流れが進む一方で、国際情勢不安、原料・エネルギー価格の高騰や急激な為替相場の変動などの要因により、先行きは不透明な状況となっております。

当社グループにおいては、従来からの少子化の流れの中で企業間競争が激しさを増しており、経営環境は依然厳しい状況で推移しています。当社が属するeラーニング事業は、令和5年6月に閣議決定された「新たな教育復興基本計画（計画期間2023年～2027年）」をふまえ、当社が開発したICT教材を通じた社会課題の解決と、事業成長の同時実現に向けて活動を行っております。

eラーニング事業を行っているすららネットでは、「教育に変革を、子どもたちに生きる力を。」を企業理念とし、他社に先駆けた様々な取り組みに挑戦し続けています。

当第1四半期連結累計期間において、塾マーケットでは、山梨県を中心に展開する総合進学塾甲斐ゼミナールで当社ICT教材「すらら」の導入が決定しました。BtoCマーケットでは、学習習慣が身につかない子どもをはじめ、不登校・発達障がいの利用者増加を受け、悩みや不安の大きい保護者支援として「ほめビリティ・ペアレンティング」サービスの参加申し込みの受付を開始しました。

また、2024年3月、株式会社ウィザスと業務提携契約を締結いたしました。両社がこれまで培った知見・ノウハウ等経営資源を相互に有効活用し、学習塾や学校、グローバルなど各マーケットに連携した幅広い層の教育ニーズに応じて教育事業全体の活性化への貢献を図るとともに、教育を通じた持続可能な社会の実現と、企業価値向上の実現を推進してまいります。

新たな市場への取り組みとして、デジタル情報量の爆発的増加を背景に数値情報の分析、活用ができる人材育成に伴うニーズの高まりを受け、リスキリング教材として「仕事に役立つ数学基礎コース」を公益財団法人日本数学検定協会と共同で開発しました。さらにICT教材「すらら」の高校理科コンテンツに新たに3Dアニメーションを取り入れた「科学と人間生活」を追加し、今まで以上に進路の選択肢を広げるサポートに繋がるサービスを2024年4月より提供いたします。多様化する学びや課題に対し、順次新たな取り組みを進めております。

経営指標である課金対象導入校数と利用ID数につきましては、補助金を除く契約数は伸長していますが、学校マーケットでの経済産業省探学的学び支援が2023年12月末で終了したこと、塾マーケットでは、私塾市場の生徒数減少や、塾が使用しているEdTech教材の多様化等の影響により、前年同期比で導入校数及び利用ID数が減少しました。

その結果、すららネットでの当第1四半期連結会計期間末における導入校数は2,246校（前年同期比250校減少）、利用ID数は266,506ID（前年同期比91,456ID減少）となりました。

なお、業容の拡大に向けた営業・開発人員の増強、新コンテンツ・システムへの開発投資等については、引き続き積極的に取り組んでまいりました。

その結果、当社グループ全体の当第1四半期連結累計期間における売上高は499,453千円（前年同期比8.6%減少）、売上原価は160,903千円（前年同期比26.1%増加）、販売費及び一般管理費は254,749千円（前年同期比5.8%減少）となりました。

当社グループ全体の当第1四半期連結累計期間における営業利益は83,801千円（前年同期比43.6%減少）、経常利益は85,331千円（前年同期比42.0%減少）、親会社株主に帰属する四半期純利益は62,995千円（前年同期比35.7%減少）となりました。

また、当社グループの事業セグメントは、eラーニング、受託開発、アプリ開発ではありますが、受託開発及びアプリ開発の全セグメントに占める割合が僅少であり、開示情報としての重要性が乏しいため、セグメント毎の記載を省略しております。

〈すららネット課金対象導入校数の推移及び利用ID数の推移〉

年月	導入校数				利用ID数				
	学習塾	学校	海外	合計	学習塾	学校 (注2)	海外	BtoC	合計
2023年3月末	1,201	1,200	95	2,496	17,565	327,952	7,879	4,566	357,962
2023年12月末	1,177	1,366	53	2,596	18,571	402,045	3,204	4,301	428,121
2024年3月末	1,184	1,014	48	2,246	16,989	242,112	2,873	4,532	266,506

- (注) 1. 当社ICT教材の導入校数、利用ID数を各マーケット毎に表しています。
 2. ご利用いただいている当社ICT教材は以下となります。
 すらら：主要5教科の学習を一人一人の理解度に合わせて進めることができるアダプティブなICT教材
 すららドリル：ドリル機能、テスト機能に特化した公立小中学校向け「すらら」の姉妹版ICT教材
 すららSatellyzer：宇宙をテーマに必要な基礎スキルを身につけていく高校生向け探究学習ICT教材

〈すららネット公立学校の導入校数及び利用ID数〉

年月	公立学校 (注1)		EdTech導入補助金 (注2)		探究的な学び支援 (注3)	
	学校数	利用ID数	学校数	利用ID数	学校数	利用ID数
2023年3月末	947	268,749	345	103,152	—	—
2023年12月末	1,034	326,866	—	—	282	133,296
2024年3月末	768	193,473	—	—	—	—

- (注) 1. 経済産業省EdTech導入補助金、探究的な学び支援により利用している学校数・利用ID数を含めていますが、当社既存契約校舎が採択された補助金申請分の学校数・利用ID数は控除しております。
 2. 経済産業省EdTech導入補助金により利用している学校数・利用ID数になります。
 3. 経済産業省探究的な学び支援により利用している学校数・利用ID数から、当社既存契約校舎が採択された学校数・利用ID数は控除しております。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて38,710千円減少し、2,669,945千円となりました。

企業の安全性を示す自己資本比率は、前連結会計年度末82.0%に対し、当第1四半期連結会計期間末は85.5%となり、3.5ポイント増加となりました。また、支払能力を示す流動比率は、前連結会計年度末357.0%に対し、当第1四半期連結会計期間末は430.8%となりました。

(流動資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は、前連結会計年度末に比べて97,576千円減少し、1,493,554千円となりました。これは主に、現金及び預金が112,039千円増加した一方、売掛金が218,720千円減少したことによるものであります。

(固定資産)

当第1四半期連結会計期間末における固定資産は、前連結会計年度末に比べて58,866千円増加し、1,176,391千円となりました。これは主に、ソフトウェア仮勘定が59,376千円増加したことによるものであります。

(流動負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は、前連結会計年度末に比べて98,938千円減少し、346,707千円となりました。これは主に、前受金が75,827千円、未払金が29,221千円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べて60,228千円増加し、2,311,837千円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益を62,995千円計上したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、2024年2月2日に公表いたしました連結業績予想から変更はありません。今後状況の変更により、通期連結業績予想に修正が必要と判断した場合には、速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,154,743	1,266,782
売掛金	401,421	182,700
仕掛品	5,427	5,226
前払費用	31,432	38,190
その他	3,775	5,076
貸倒引当金	△5,667	△4,422
流動資産合計	1,591,131	1,493,554
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	11,623	11,492
建物附属設備(純額)	13,942	13,299
工具、器具及び備品(純額)	1,705	1,571
有形固定資産合計	27,272	26,363
無形固定資産		
ソフトウェア	708,677	707,360
ソフトウェア仮勘定	175,637	235,013
のれん	90,253	83,310
その他	—	1,280
無形固定資産合計	974,568	1,026,965
投資その他の資産		
長期未収入金	1,777	1,777
差入保証金	55,866	55,639
繰延税金資産	51,113	60,991
その他	8,767	6,431
貸倒引当金	△1,840	△1,777
投資その他の資産合計	115,684	123,062
固定資産合計	1,117,524	1,176,391
資産合計	2,708,655	2,669,945

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年3月31日)
負債の部		
流動負債		
1年内返済予定の長期借入金	1,500	—
未払金	150,324	121,103
未払費用	26,456	24,380
未払法人税等	50,042	38,266
未払消費税等	22,267	28,107
前受金	155,232	79,405
預り金	16,722	11,452
賞与引当金	23,100	43,992
流動負債合計	445,646	346,707
固定負債		
株式給付引当金	11,400	11,400
固定負債合計	11,400	11,400
負債合計	457,046	358,107
純資産の部		
株主資本		
資本金	298,370	298,370
資本剰余金	256,865	256,865
利益剰余金	1,746,342	1,809,338
自己株式	△81,833	△81,833
株主資本合計	2,219,744	2,282,740
非支配株主持分	31,864	29,097
純資産合計	2,251,609	2,311,837
負債純資産合計	2,708,655	2,669,945

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2023年1月1日 至2023年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2024年1月1日 至2024年3月31日)
売上高	546,566	499,453
売上原価	127,642	160,903
売上総利益	418,923	338,550
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	41,056	30,348
貸倒引当金繰入額	△96	△719
役員報酬	17,309	18,061
給料及び手当	67,011	70,488
賞与引当金繰入額	13,629	14,260
法定福利費	13,880	14,329
旅費及び交通費	9,004	12,222
減価償却費	2,599	3,831
のれん償却額	6,942	6,942
その他	99,055	84,983
販売費及び一般管理費合計	270,394	254,749
営業利益	148,528	83,801
営業外収益		
受取利息	7	6
為替差益	398	705
貸倒引当金戻入額	151	73
講演料収入	30	488
その他	36	256
営業外収益合計	624	1,530
営業外費用		
支払利息	79	0
支払精算金	1,431	—
その他	534	—
営業外費用合計	2,045	0
経常利益	147,108	85,331
特別損失		
固定資産除却損	—	146
特別損失合計	—	146
税金等調整前四半期純利益	147,108	85,184
法人税、住民税及び事業税	46,802	34,834
法人税等調整額	△1,171	△9,878
法人税等合計	45,631	24,956
四半期純利益	101,476	60,228
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	3,518	△2,767
親会社株主に帰属する四半期純利益	97,958	62,995

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)
四半期純利益	101,476	60,228
四半期包括利益	101,476	60,228
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	97,958	62,995
非支配株主に係る四半期包括利益	3,518	△2,767

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。